

# 安全データシート (SDS)

整理番号：骨材-0001  
作成日：2017/04/01

製品名： 骨材

## 1. 化学品等及び会社情報

製品名・・・・・・・・・・骨材  
会社名・・・・・・・・・・株式会社 村尾組（五日市工場）  
住所（本社）・・・・・・東京都福生市大字福生1 2 1 3 番地  
担当部門・・・・・・・・・・砕石事業部  
電話番号・・・・・・・・・・042-533-8415  
FAX番号・・・・・・・・・・042-533-8417  
緊急連絡電話番号・・・・042-533-8415  
用途・・・・・・・・・・建材材料

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

### 《物理化学的危険性》

爆発物	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支熱性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類対象外

### 《健康有害性》

急性毒性（吸入：粉じん）	区分5
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性	分類できない

## GHSラベル要素

絵表示： 無し  
注意喚起語： 無し  
危険有害性情報： 吸入すると有害のおそれ

### 注意書き

#### 【安全対策】

使用前に【安全データシート】を読み理解するまで取扱わないこと。  
眼に入れないこと。飲み込まないこと。  
取扱い後は、よく手を洗うこと。  
使用時は保護具等を着用すること。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

#### 【救急措置】

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗眼すること。  
飲込んだ場合は、口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。  
吸引して気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。

#### 【保管】

粉じん飛散防止を図ること。

#### 【廃棄】

都道府県知事の規則にしたがって廃棄すること。  
不明な場合は購入先に相談の上、処理すること。

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質又は、混合物の区別： 化学物質  
化学名又は一般名： 結晶質-石英 (Crystalline silica, quartz)  
別名： 石英 (Quartz)  
化学式：  $\text{SiO}_2$   
CAS番号： 14808-60-7 (石英)  
官報公示整理番号： (化審法・安衛法) (1) -548 【シリカ】  
(1) -357 【酸化鉄】  
成分及び含有量： 

$\text{SiO}_2$	71.19%
アルミニウム化合物	13.67%
酸化鉄	3.16%

---

## 4. 応急処置

眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗眼する。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、医師の手当を受ける。  
口内が汚染されている場合は、清浄な水で十分洗う。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤： この製品自体は、燃焼しない。  
使ってはならない消火剤： 情報無し  
特有の危険有害性： 特に無し  
特有の消火方法： 特に無し

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、周辺火災に応じて適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項  
保護具及び緊急時措置： 作業の際には、保護具を着用する。

環境に対する注意事項： 粉じんが飛散しないようにする。  
河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。

二次災害の防止策： 漏出時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

《取扱い》  
技術的対策： 保護具を着用すること。  
局所換気・全体換気： 室内で取扱いを行う場合は、十分な換気を行う。

《保管》  
安全取扱い注意事項： 粉じん飛散防止を図り、保管すること。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

《許容濃度》ばく露限界値、生物学的ばく露指標  
日本産業衛生学会（2016年版）：  
吸入性粉じん： 第3種粉塵  
2.0m g / m<sup>3</sup>  
総粉じん： 8.0m g / m<sup>3</sup>  
吸入性結晶質シリカ： 0.03m g / m<sup>3</sup>

《管理濃度》  
設定されていない。  
ACGIH（2015年版） TLV-TWA： 0.025m g / m<sup>3</sup> A2

設備対策  
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には必要に応じて粉じん対策をすること。

保護具  
呼吸器の保護具： 必要に応じて防じんマスク等を着用する。  
手の保護具： 必要に応じて保護手袋を着用する。  
眼の保護具： 必要に応じて保護眼鏡を着用する。  
皮膚及び身体の保護具： 必要に応じて保護衣、安全靴等を着用する。  
衛生対策： 取扱い後は手洗い、うがい等行う。

---

## 9. 物理的及び科学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）： 固体、灰色または茶色または黒色  
臭い： データ無し

pH :	データ無し
融点・凝固点 :	データ無し
沸点、初留点および沸騰範囲 :	データ無し
引火点 :	不燃性
爆発範囲 :	データ無し
蒸気圧 :	データ無し
蒸気密度 (空気 = 1) :	データ無し
比重 (相対密度) :	2.6~2.7
溶解度 :	不溶
オクタノール/水分配係数 :	データ無し
自然発火温度 :	不燃性
分解温度 :	データ無し
臭いのしきい (閾) 値 :	データ無し
蒸発温度 (酢酸ブルチ = 1) :	データ無し
燃焼性 (固体、ガス) :	データ無し
粘度 :	データ無し

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性・科学的安定性 :	通常の取扱い条件で反応しない又大気中で安定
避けるべき条件 :	粉じんの飛散
危険有害な分解生成物 :	知見無し

---

## 11. 有害性情報

- : 有害性情報は 2. 危険有害性の要約GHS分類情報を参照のこと。
  - : 取扱い作業中に発生する粉じんを長期間に渡り吸入すると、じん肺に罹る恐れがある。
- 

## 12. 環境影響情報

生態毒性 :	情報無し
残留性・分解性 :	情報無し
生体蓄積性 :	情報無し
土壤中の移動性 :	情報無し
オゾン層への有害性 :	情報無し

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄に於いては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた棄処理業者に内容を明確にし処理を委託する。
---------	---

---

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

国連番号： 該当しない  
海上規制情報： 非危険物  
航空規制情報： 非危険物

## 国内規制

海上規制情報： 非危険物  
航空規制情報： 非危険物  
陸上規制情報： 規制無し

特別の安全対策： 飛散防止の為、荷台にシート掛けをすること。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法： 名称を告知すべき有害物  
【シリカ】  
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
(政令番号 第312号)  
(法第22条、粉じん障害防止規則別表第1)  
【酸化鉄】  
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
(政令番号 第192号)

毒物及び劇薬物取締法： 該当しない  
じん肺法： 第2条施行規則第2条別表粉じん作業

---

## 16. そのほかの情報

記載内容は製品の安全な取扱いを確保する為の参考情報として、現時点で入手出来た資料・情報・データに基づいて作成し取扱事業者にご提供するものです。  
尚、この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改定される事があります。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではありません。弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性があります。取扱いをする場合には用途用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。